

# NPO法人認可

紀部 世案  
21世紀水倶楽部

臨時総会  
会員拡大へ

21世紀水倶楽部(理事長 大迫健一・千葉工大教授)は8日、臨時総会を開き、事業計画の見直し、会員拡大、シンポジウム開催などを決めた。同倶楽部は下水道事業への支援を主目的に

去る5月設立。東京都にNPO(特定非営利)法人の



挨拶する谷戸下水道部長

認可申請していたが、8月に認められたことから、定款変更などのため臨時総会を開いたもの。総会には谷戸国土交通省下水道部長、安中日本下水道事業団理事長も出席、同倶楽部の活動に期待する挨拶を述べた。

検討項目の一つである「下水道と合併浄化槽の役割」では、愛知県のある町をモデルに事例を研究し、結果をホームページ等で公表、討論会を行うことなどを決めた。

○旧建設省OBらが支援してくれる活動はあ

設立した「21世紀水倶楽部」が期待している。

部は8日、臨時総会を」と挨拶した。

開いたが、まず活動の大 O-ISSO/TC22

チームは会員拡大。現会 4総会に参加したメンバー

は32人だが、勧誘 ーが会員。基本的な

強化を決めた。総会 あるものの、各国の

には谷戸国土交通省 恩感や各WGの考え

下水道部長も駆け付 方の違いなどもあっ

け、「アン て、今後の作業を十

ケートなど 分注視することにも

を行って、 最終案完成までの積

下水道に対 極的な取り組みの必

する世論を 要性を痛感したとい

喚起するの う。団長の京才委員

も考えられる」と下 長は「国際的な共通

水道の応援隊に期待 認識を持つには時間が

を寄せた。安中下水道事 業団理事長は、10月1日

から地方共同法人として 論が展開され、今更に見

再出発したことを述べ、 えなかつたものも見えて

「下水道を取り巻く環境 きた」と気持ちを改めて

が厳しくなっている時、 取り組み姿勢を見せる。

## 取材帳

### 下水道の応援隊に期待